

仙台市議会だより

sendai city assembly



仙台市博物館

昭和26年に仙台伊達家から寄贈された資料群(伊達家寄贈文化財)の保管・展示・研究のために、仙台城三の丸跡に昭和36年に開館しました。

平成13年に国宝に指定された慶長遣欧使節関係資料や、重要文化財の伊達政宗所用具足・陣羽織、豊臣秀吉所用具足などの他、江戸時代を中心とした仙台藩に関わる歴史・文化・美術工芸資料など約9万点を収蔵しています。なお、平成22年4月20日に常設展示室をリニューアルオープンし、今まで以上に、政宗が築いた仙台城や城下町に関する展示を充実させました。(写真提供:仙台市博物館)

議員定数5減の条例改正案を可決

～ 来春の市議選から適用 ～

6/23	6/21	6/16 ～ 18	6/14 ・ 15	6/8
本会議	常任委員会	本会議	本会議	本会議
・各常任委員会委員長報告 ・議案の提案理由説明 ・討論 ・議案の採決	・議案の審査	・一般質問 11人	・議案の提案理由説明 ・代表質疑 6人	・人事案件 ・各調査特別委員会委員長報告 ・各常任委員・議会運営委員及び各調査特別委員の選任 ・議案の提案理由説明

定例会会期日程

市民のみなさまへ

議会改革が前進

今定例会において、議員定数を五人削減する改正条例と政務調査費の一円以上のすべての支出に係る領収書等の添付を義務付ける改正条例が可決されました。これによって、市民に開かれた、活発で効率的な議会運営を目指す議会改革の推進に向け、議員自らが身を削る定数削減を進めるとともに、政務調査活動の透明性を高めることとなります。委員会条例の改正も併せ、議員提案条例が三件可決したことも特徴的でした。議会運営の効率化を図り、自らのことを自ら律していくという姿勢を示すことができた定例会だったと思います。

議会改革検討会議の設置

会期中に議会改革検討会議

が設置され、政務調査費制度の適正な運用などについて十一月末をめどに精力的に改善に向けた検討を進めていきます。年内には結論を出し、次期任期からは一層透明性の高い制度へと改革する予定です。

市長提出議案等

議員の費用弁償を減額したことに伴う補正を含む二十二年度補正予算案や条例案など市長提出議案十五件、議員提出議案等六件の合計二十一件の議案等が提出されました。代表質疑と一般質問、さらに委員会での審議を通じて、(仮称)錦丘小学校の新設や敬老乗車証制度の見直しをめぐる問題など、身近で重要な問題に関し、活発な議論が行われました。

仙台市議会

議長 野田 謙
副議長 渡辺 公一

議会改革に本格着手

議長が主宰する各派代表者会議で、二月から六項目の議会改革検討項目について十数回にわたり、公開で議論が進められました。

議員定数

議員定数のあり方について優先して検討が重ねられ、五人削減案が複数の会派から提案されましたが、結論に至らず、本会議で決することとなりました。投票の結果、現行定数六十人を五十五人に削減する定数条例の改正案が可決され、来春に実施予定の市議会議員選挙から適用されます。

政務調査費

政務調査費については、全交渉会派が一円以上のす

目次

市民のみなさまへ 定例会会期日程	1面
議案の紹介	2面
代表質疑	2・3面
一般質問	4面
常任委員会審議の概要 用語解説	5面
調査特別委員会からの報告	6・7面
議会運営委員会の一年を終えて 議員提案条例 請願 議員表彰 傍聴のご案内 定例会の流れ	7面
新しく選任された委員会の委員 会派別議案等賛否一覧表 会派構成変更のお知らせ 次回定例会のお知らせ 編集後記	8面

今後の改革の進め方

六月に設置された議会改革検討会議において政務調査費制度の細部にわたる見直しを進め、年内には結論を得て、より透明性の高い制度に改善し、次の議員の任期である来年五月二日からスタートさせる予定です。さらに海外視察のあり方や費用弁償などについても引き続き議論し、仙台市議会を挙げて改革を押し進めていく予定です。